

令和4年度「ウインターフェスティバル」実施報告書

I 事業の概要

1 期 日 令和5年2月4日（土）・5日（日）



2 日 程

2月4日（土）		2月5日（日）	
9:30	受付	7:00	起床
10:00	出合いのつどい オリエンテーション 荷物移動 → 各部屋へ	7:30	掃除
11:00	交流レクリエーション	8:00	朝食・検温
12:00	昼食・着替え	8:45	退所点検
13:00	〈スノーパラダイスⅠ〉 活動説明・諸注意・スパッツ講習	9:00	〈スノーパラダイスⅡ〉（Rホール集合） 活動説明 → 移動 多目的広場 A スノーフラッグ 雪中宝探し・雪だるま B チューブそり遊びなど ※2グループに分かれて活動 （各1h程度）
13:15	出発（玄関で集合写真） 前半13:15～14:45 後半15:00～16:30 A スノーシューハイキング・ かまくら作りグループ B チューブそり・雪遊びグループ	11:20	活動終了
16:30	活動終了	11:30	帰所・着替え・休憩
16:45	帰所・着替え →小研修で濡れた服を乾かす・休憩	12:00	昼食
17:30	夕食	13:00	感想記入後解散 ※別れのつどいなし
18:30	家族でゆっくりボードゲームの説明		
19:00	入浴 ※順番については別途記載 体育館も開放する。（卓球など）		
22:00	就寝		

3 趣 旨

- ・スノーシュー・そりなど、楽しい雪遊び活動を体験することで冬の自然に親しむ。
- ・活動をとおして、親子の絆を深めるとともに、他の家族との交流を図る。

4 対 象 小中学生とその家族 12家族

5 応募者数 19組70名

6 参加者 12組45名（当日1名キャンセル）

7 参加費 1人3000円

II 実施状況

■ ウィンターフェスティバル（1日目） 〈2月4日（土） 天候 雨のち晴れ〉

3年ぶりに宿泊を伴うウィンターフェスティバルとなった。また、雪もしっかりと残っていたので、久しぶりに船上山周辺で活動することができた。

指導員による交流レクリエーションでは、初対面の家族同士も次第に打ち解け合い、ゲームを通してお互いの距離が縮まったように見えた。途中雨が降っていたが昼食ごろになると雨もやみ、晴れ間が見え、午後から絶好の活動日和となった。

今回も2つのグループに分けて活動を行った。Aグループはスノーシューハイキングの活動。参加者にスノーシューを履いてもらい、ダム湖周りを散策したり、ダムびこを行ったりした。途中、野生動物の足跡を見つけ、何の生き物が参加者に考えてもらった。Bグループでは、チューブそりやプラそりなどを使って滑る活動を行った。初めて多目的広場に來られた方は、その勾配の大きさに驚かれていたが、指導員が滑り方を紹介すると親子一緒にどんどん挑戦されていた。滑るたびに歓声が上がり、子どもだけでなく大人の方もジェットコースターのようなチューブそりを満喫されていた。

夕食後は参加者にボードゲームを使ってゆったりと家族の時間を過ごしていただいた。家族の実態に合わせて好みのゲームやカードを使って楽しまれていた。また、体育館を開放すると、卓球やバドミントンなどをされる親子もあった。大きなケガもなく、無事に一日を過ごすことができた。



■ ウィンターフェスティバル（2日目） 〈2月5日（日） 天候 晴れ〉

2日目も絶好の天候となった。全員で多目的広場へ向かい、1日目と同様にそり活動や雪中宝探し、スノーフラッグなどの活動を行った。スノーフラッグでは子どもの部だけではなく、お父さんやお母さんにも参加していただき、大変盛り上がった。子どもがお父さん、お母さんを応援する姿があり、微笑ましかった。雪中宝探しでは、なかなか宝（おかし）が見つからなかったが、他の家族の方も協力していただき何とか全員の宝を探し出すことができた。この頃になると、参加者同士の繋がりも感じられるようになった。

途中雨もあったが、この2日間は天候にも恵まれ、また、積雪もしっかりとあり、予定していた活動を全て終えることができた。毎年ウィンターフェスティバルに参加される家族もあり、楽しみにされているのが伝わってきた。今年度の活動を振り返り、来年度もまた参加していただけるようしっかりと準備していきたい。



《参加者の満足度》

【ウインターフェスティバル】…参加者12家族（家族ごとにアンケート 回収率100%）
事業全体の満足度は12家族中12家族が「満足」であった。

《参加者の感想》（抜粋）

- ・久しぶりにいい汗をかかせてもらいました。チューブそりなどは小学生の子が「とても良かった」と喜んでいました。保育園児を連れていったのでついていけるか不安でしたが、スタッフの方が優しく声掛けをしてくださったので嬉しかったです。
- ・ずっと夏のカヌー教室や勉強合宿など楽しそうだな、いつか行ってみたいなと思っていました。今回のウインターフェスティバルもすごく楽しそうと思いきって申し込んでみました。初めてのチューブそりは迫力満点でとても楽しかったし、合宿のようで子どもも大人もたくさん遊びました。食物アレルギーにも対応してくださって安心して過ごすことができました。毎回のご飯もとてもおいしくて楽しみでした。次もおもしろそうなイベントがあれば参加してみたいです。

2 成果

- ・そり活動ではコースに溝を作ることによって、そり同士が交錯することなく安全に活動することができた。また、雪中宝探しやスノーフラッグなど多くの活動を行うことで子どもから大人まで楽しんでいただくことができた。
- ・事前にスノーシューハイクコースの下見を入念に行ったおかげで、参加者に満足していただける活動となった。
- ・夜は何かの活動と一緒にすることも良いが、各家族の人数や事情に合わせてボードゲームやスポーツを楽しんでいただくなどの活動もよいと感じた。

3 課題

- ・どうしても天候に左右されてしまう活動が多いので、雪が無い場合の香取会場の活動や荒天の場合の室内活動の準備や段取りを様々な状況を想定しておく必要がある。
- ・日中と朝夕の寒暖差が激しいので、参加者が利用されている部屋の温度調整や体調管理などを考えておくことも必要だと感じた。